

交換卓話

静岡中央 ← → 清水中央

清水中央RC
藤原 通晴 様

今年度当初、静岡中央RCの望月様に清水へお越し戴き、有意義な卓話を賜りありがとうございました。今宵は静岡中央RCの皆様に感謝の気持ちで、不束ですが、卓話を努めさせて戴きます。

私は、日本平の麓、清水区村松、清水エスパルス・ホームグラウンドサッカー場の北側に位置します、日本平幼稚園にて、日々子供達と生活しております。20代はクラスを持って園児と直接一日中接していたのですが、現在は子供達の登・降園時の挨拶、子供達同士のトラブルの仲裁、特に「いじめ」に対しては厳しく、管理職となってからもほとんど職員室にはおりません。保護者・地域の苦情相談への対応、訪問者・依頼事への対応は別として、園庭の芝生の手入れ、山の雑草取り、園児の収穫する畑の手入れ、遊具や廊下のペンキ塗り、トイレ・水道の目詰まり・故障の修理等々。



ところで皆様は、今の日本の教育事情をご存知ですか。毎年120万人近く生まれ、就学前の幼児が大雑把に360万人前後存在します。その内、6～7割が幼稚園に在籍し、3～4割が保育園・保育所に在籍しております。世間の皆様は今まで幼稚園も保育園も「お幼稚」と言って同一と考えていたように思います。根本的な違いは、幼稚園が「文部科学省」所管の教育施設であるのに対して、保育園は「厚生労働省」所管の乳幼児施設です。簡単に申しますと、教育と保護との似て非なる存在です。同じ国民の子弟に対して差別的である点です。7割近くを占める幼稚園に対する投資は3割程、対する3割前後の保育園に対する手当は7割前後。毎年100ヶ園以上の幼稚園が廃園に追い込まれているのが現状です。「国家100年の大計は教育にあり」として臨んだ明治維新以来

諸外国から。憧憬の目で見られてきた日本人。然るに今日の社会状況は、子供が育つ環境としては技術革新による便利さ、手軽さを得た半面、自然との調和が損なわれ、日本人としての生き方が悪しき方向へ変化してきているこの事実。変化しなければならないものもありますが、変わってはいけないものもたくさん存在します。自他の尊厳を尊重する謙虚さ、家族・地域の絆と互助精神、権利よりも義務を優先する慎み深さ、額に汗して今日を生きる喜び等、数え上げると限りがありません。静岡県の県民運動として、揚げられている「富国・有徳」この取り組みは全国的にも注目されております。幼い子供達へは「早寝・早起き・朝ご飯」自ら遊びを工夫して楽しむ喜びを持てる子供に育てましょう。



委員会報告

- ラグビースクールの件(曾根田会員)
静岡ラグビースクール中部部責任者/圓福様より
全国大会出場の報告
- 親睦委員会(高橋委員長)
12/15クリスマス家族会について
出席者数/会員45名、家族33名



出席報告..... 望月 徹 委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	11/16	50名	25名	19名	—	2名	61.4%
前 回	12/1	50名	44名	5名	—	(名)	93.6%
本 日	12/8	50名	38名	10名	80.9%	(名)	—